

基山町議会
議長 品川義則様

総務文教常任委員会
委員長 栗野久明

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 小学校放課後補充学習事業について（令和2年11月4日）
- (2) 中学校放課後等補充学習事業について（令和2年11月4日）

2 調査結果

(1) 小学校放課後補充学習事業について

この事業は、平成28年度から6年生の希望者を対象に開始した事業で、新たに平成30年度から3年生を追加拡充している。また、算数の基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る目的で、令和2年度は163名の児童が補充学習に参加している。

基山小学校内において、教育学習課、基山小学校管理者、委託事業者を交えて意見交換し、その後、補充学習の参観を行った。

意見交換では、学校教育が基本でその補完として補充学習を行っているとの説明を受けたが、児童の習熟度について学校側との確認や連携を図っているのか質したところ、学校の教育課程に合わせて補充学習の教材と関連しており、小学校の進度状況も把握して指導をしているとのことだった。

当委員会としては、補充学習で児童の学びの楽しさや学習意欲、学力向上などを踏まえて、教育学習課、各小学校、委託事業者とが連携を密にとり、情報共有と補充学習の成果を把握していくよう提案した。

(2) 中学校放課後等補充学習事業について

小学校の放課後補充学習事業と違い、講師を公募し、現在 18 名の登録がされている。

1、2 年生は数学と英語の基礎学力の定着を図るため、それぞれ週 1 回行っている。3 年生は高校入試を見据えた学習習慣の定着を図るため、自学自習形式で各自のペースに応じて支援しており、令和 2 年度は 120 名の生徒が受講している。

基山中学校内において、教育学習課、基山中学校管理者を交えて意見交換し、その後、補充学習の参観を行った。

意見交換で、生徒のアンケート調査では「補充学習が自分のためになっている」、「理解できないところが分かるようになり良かった」など多くの前向きな回答が見られたとの説明を受けた。

今年度、講師を増員した理由を質したところ、昨年までは 1 クラスに講師 2 名で対応していたが、さらにきめ細やかな対応をするため 4 名の体制にしたとのことだった。

当委員会としては、今後、新型コロナウイルス感染症の影響での休校などによる学力の低下も考えられるため、この補充学習事業を通してしっかりと対応していくよう提案した。

3 委員会の所感

今回の所管事務調査を終えて、この放課後補充学習事業で、児童、生徒の表情から真剣さがうかがえたことや、指導員の増員によりきめ細やかな指導が「学びのつまずき」の解消に繋がっていることなど、方向性に問題はなく、更なる事業の充実を図っていただきたい。